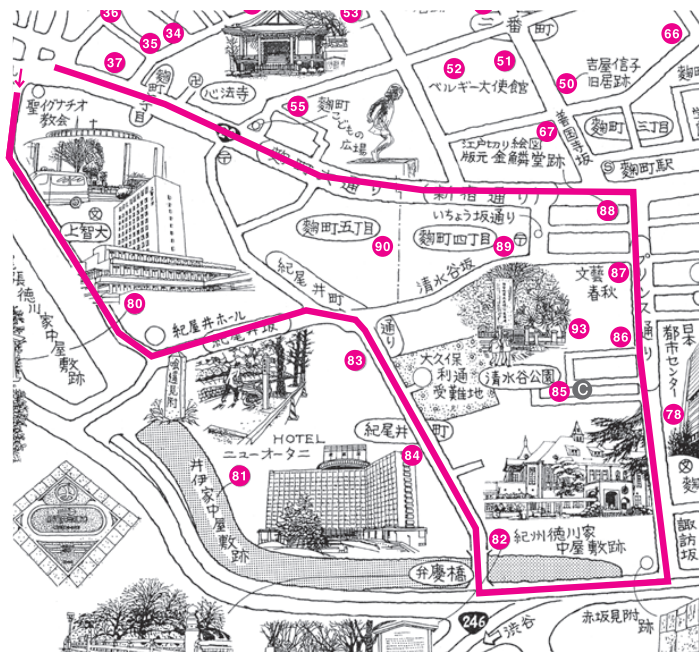


E 散歩道・Eコース
 <紀尾井町・麹町大通り>



2世 尾上松緑

この散歩も、スタートは四ッ谷駅から。麹町大通りを半蔵門に向かって右側は、麹町六丁目、さらにその奥一帯は紀尾井町が大きく広がります。現代的なデザインの**イグナチオ教会**は、昭和11年(1936)に麹町教会として創立。現在の教会は、平成10年(1998)に新築されています。高層校舎が建つ**上智大学**は、明治44年(1911)にイエズス会宣教師によって創設されています。桜の頃になると賑わう土手沿いの道は、大学名に因んでソフィア通りと名付けられています。このあたりは江戸時代、御三家の一つである**尾張徳川藩**の中屋敷があった場所。音楽の殿堂**紀尾井ホール**もこの一帯に。その東側は、江戸時代以前から初期にかけて吉原の前身だった場所とか。ホテルニューオータニのある広大な一帯は**井伊藩**の中屋敷でした。紀尾井坂を下って弁慶橋の方へ折れると、角のあたりに**2世尾上松緑**の屋敷がありました。この付近には、**初代水谷八重子**が戦後住んでいた家などが連なっていました。



初代水谷八重子

ウォーキング・データ	距離:2.6km 3250歩(歩幅80cm) 所要時間:50分(ゆっくり歩いて)
------------	---

※くわしい人物紹介は、WEBサイト「麹町界隈わがまち人物館」で!

す っかり整備され都心のオアシスとなっている清水谷公園の中には、**大久保利通**が襲われた大きな記念碑が建っています。かつての赤坂プリンスホテルは、今は東京ガーデンテラス紀尾井町と生まれ変わりましたが、江戸時代は**紀州徳川藩**の中屋敷であった場所。紀尾井町の名が、紀伊、尾張、井伊の頭文字をとって名付けられたというはご存知ですね。朝鮮最後の王朝であった**李王家**の元邸宅も保存されています。設計は宮内省内匠寮によるものでチューダー・ゴシック調の建物様式は貴重です。その先に、コの字形になった道がありますが、この奥に幸田延の家がありました。**幸田延**は、東京音楽学校の教授で、日本での西洋音楽の基礎を築いた女性です。さらにその先には、明治薬科大学の会館がありますが、ここはかつて同大学の前身だった**明治薬科学校**の校舎があった場所。また**初代水谷八重子**が育ち、結婚した**守田勘弥**と新婚生活を送った場所もこのあたり。**現・八重子**が生まれ育った場所でもあります。



幸田延



直木三十五

そ の先には現在、**文藝春秋社**の建物が建っています。場所は特定できませんが、この付近は文春ゆかりの人たちが多く住んでいました。紀尾井町3番地には、直木賞でその名を残す時代小説家の**直木三十五**や、その盟友の作家で戦後は文春の社長にもなった**佐佐木茂索**、さらに中国文学者の**奥野信太郎**はこの地で生れています。向側のブロックの麹町三丁目3番地には、東京裁判の弁護人で戦後は衆議院議長も務めた**清瀬一郎**の家がありました。

麹 町大通りを出て、三菱UFJ銀行あたりには、幕末の頃、江戸の切り絵図をつくって大当たりした版元の**金鱗堂尾張屋清七**の店があった場所。その先のセリエビルは、戦前、少女たちの人气的だった挿絵画家**中原淳一**のお店「ひまわり」があったといいます。さらにいちょう坂通りの海事ビルあたりには、戦後の一時期**17世中村勘三郎**一家が住んでいました。女優**波野久里子**や、その弟で若くして亡くなった**18代目勘三郎**もここで育ったのです。



近衛秀麿

麹 町大通りを四ッ谷方面に向かい右側にある参議院議員宿舎のあたりは、明治の初期に衆議院議長を務めた**近衛篤磨**の桜木邸といわれた屋敷があった場所。ここで、戦前戦後と活躍した指揮者・作曲家の**近衛秀麿**が生まれ育っています。